

地域働き方・職場改革等の取組状況について

令和8年9月8日

地域働き方・職場改革等推進会議構成員 古屋星斗

地域において産官が当該テーマを協働するコンソーシアム等を立ち上げるなど、各地で成果を感じることが増えている。そのうえで、「今後の方向性」について、以下三点意見する。

1. 好事例収集及び提示については、単なるベストプラクティス集とは異なり、行政実務者向けのものとなることから、取組内容や成果の共有に留まらず、「取組の実施に向けたプロセス・方法論」に重点を置いたものとなることを期待したい。
2. 「地域ブロック別会議」の開催を企図されていることに賛成する。国が主宰の説明会等で自治体担当者が集まる場はよくあるものの、相互交流を通じた知見交換・横断的な打ち手の検討の場として設計されるものは多くない。自治体各担当者が主役の場として、地域働き方・職場改革推進の機運を一層高める場になることを期待する。
3. 行政職員の採用難も多くの自治体で問題となっている。地域では、自治体こそが若者・女性の働きやすい職場改革の先頭ランナーである必要があり、改革のプレイヤーとしての自治体の組織改革等も好事例として位置付けられたい。

以 上